

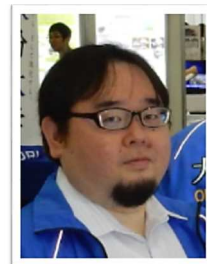
研究分野 産学官金言連携協働教育, 地域創生, MOT, 人財開発, 事業化等

キーワード アクティブラーニング, 事業化, 製品開発

産学官金言連携協働教育と事業化

IRセンター <https://www.ir.oita-u.ac.jp/>

助教 安部 恵祐 (Keisuke Abe)



研究概要

産学官金言連携協働教育と事業化

(実施内容) 社会科学教育学系の産学官金言と連携・融合活動として、次世代を牽引できる若手リーダー人材創出プロジェクト(人財開発)を実施している。現在、産学官金言連携教育を通じ、地域への課題解決策の提案や商品開発のファシリテーションを行っている。

近年では、授業から起業した企業開発製品を用いて、製麺化・販路開拓・メニュー等を展開し、「もち麦まぜそば」「もち麦ラーメン」を大学生協協力のもと、提供した。

その他、実績として、大分市・由布市・日田市・玖珠町・企業数社・金融関係数社と連携し、産学官金言アクティブラーニングを通じ、課題解決・製品開発を展開している。(2016-2020)

(研究内容) 通常のリテラシー教育としては、MOT や知的財産等を担当している。しかし、昨今の VUCA 社会において、リテラシー教育(情報収集・分析フェーズ教育)過多の状況では、就職後、早期退職や最悪自殺に追い込まれる要因になりつつある。

そこで、最悪の事態を回避する方法として、直近もしくは未来に使用できるコンピテンシーを収集し、産学官金言の協力のもと、授業内で安全に仮想社会を事前体験できる教育を実践している。また、その授業評価法やポートフォリオに関連する研究も行っている(科研費; 研究課題番号 18K02369 2018-)。授業教材とし、現実社会の行政・企業課題を用いて、解決法と企画立案を行っている。加えて、課外授業として、企画立案では終了せず、企画実施・製品開発・販路開拓等も行い、成果創出フェーズ(事業化・市場形成等)までカバーしている。

アピールポイント(技術・特許・ノウハウ等)

1. 若者の独自アイデアを活かせる授業教材開発(事業化ツール等)
2. 非加熱電界を用いた技術等(特許出願3件) 食品開発技術なども含む

バイオ・電気電子工学案件相談可能

知財管理技能士や防災士等の資格を持っているので、知財創出・MOT 利用・非日常ビジネスの課題も対応可能。

※課題提供だけでは終わらずに、課外企画実施時に(カネ・モノ・ヒト)のご助力をお願いします。状況により共同研究契約などを締結します。

応用可能な分野

エリアプランニング、商品開発(旅行・食品・土産等)、若者アイデアの導入等

(応用例) 10 例以上

商品開発、祝祭の広場活性化、ななせ川ダム周辺の活性化、ゆふいんの活性化等